

夢努力感謝 鹿本の心

第5号

令和7年9月1日

学校だより

山鹿市立鹿本小学校
校長 百田 止水

平和な世界を築くためには…

令和7年度の2学期がスタートしました。鹿本小学校の子どもたちは、元気な顔で2学期を迎えることができました。始業式では、1年から6年までの代表の子どもが、夏休みの思い出と2学期の目標をみんなの前で発表しました。それぞれに楽しかった夏休みの出来事や夏ならではの体験を話すとともに、2学期に行われる運動会や合唱祭、マラソン大会等の学校行事や普段の学校生活の中でがんばりたいこと、大切にしたいことなどを心のこもった言葉で、みんなに伝えてくれました。

その後の私の話では、戦争や平和な世界を創るためにできることについて話をしました。今年は、太平洋戦争の終戦から80年目にあたります。広島や長崎では、今年もそれぞれ原爆が投下された8月6日（水）と8月9日（土）に平和記念式典が行われました。長崎では、この平和記念式典において、福山雅治さんがつくった「クスノキ」の歌を山里小学校と城山小学校の6年生が合唱しました。平和への願いのこもったすばらしい合唱でした。

このような話を交えながら、今もなお世界各地では戦争や紛争が起こっており、日本の80年前と同じように家族や住む家、学校を失っている人々がいることを改めて伝えています。そして、私が「平和な世界を創るには、どうしたらよいですか？」という問いを子どもたちに投げかけました。すると、6年生の児童が、「平和な世界を創るには、まずは、自分たちがまわりの人間のことを考えて行動していくと、けんかがなくなると思います。けんかをしないことで、世界が平和になっていくと思います。」と話してくれました。

6年生は、修学旅行で長崎に行き、平和学習に取り組みました。このようなすばらしい考えをもつことができたことを、心よりうれしく思います。身近な生活の中で、かつとなって暴力をふるったり、考え方の異なる人を遠ざけたりすることが、大きな戦争につながっていくのではないかでしょうか。私たちは、平和な世界を創るために、自分と同じように他の人の思いやることが大切だと思います。



平和追悼祈念館で折り鶴を捧げる6年生

市長あいさつ運動を終えて

令和7年9月1日（月）に山鹿市の市長あいさつ運動が行われました。鹿本小学校では、毎朝6年生があいさつ運動とボランティアでの落ち葉の清掃や草取りを行っています。また、5年生は曜日を決めてクラスごとに運動場の草取りを、4年生は学級園の水やりや草取りを進んで行っています。さらに、くすのき会や体育委員会、栽培委員会の子どもたちは、国旗や校旗等の掲揚、運動場のライン引き、学校の花壇、プランター等の水やりを行っています。上級生の様々な活動が鹿本小学校の潤いのある生活をつくってくれています。

今日は、1年生から6年生までの元気で明るいあいさつに市長様をはじめ教育委員会の方々も大変感動されていました。引き続き、明るいあいさつを呼びかけて「あいうえおの学校」を目指していきたいと思います。

保護者の皆様には、子どもたちへの励ましをお願いします。



こう君とあいさつする子どもたち

